

photopos 33

2016.11.15 ~ 2016.12.9

【神秘学ポエジー～風遊戯 第66集】

photo ヴァージョン

photopos801-825

神秘学遊戯団

photopos-801

2016.11.15



木の葉が枯れて散り
落ちて朽ちるように

大地もそして私たちも
すべては枯れ落ち朽ちてゆく

どんなに拒もうと
ひとり孤独のうちに

ある は
ない の
底深く落ちてゆく

けれども
ない は
受けとめているのだ

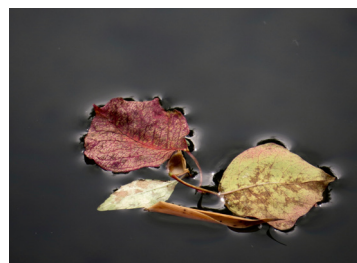
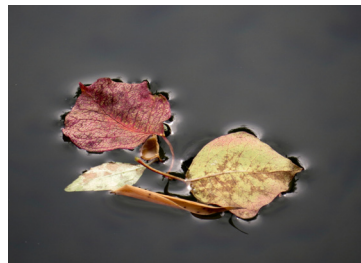
すべての孤独を
すべての生と死を
鏡の静けさで
永遠の穏やかさで

すべては大いなる
その ない によって
包まれ支えられている

*高知県北川村・モネの庭にて

photopos-802

2016.11.16



せかいはひとり
それともふたり

ひとりであるから
ふたりでいられる

ふたりであるから
ひとりでいられる

たよりあうより
むすびあうこと

ひとりのむすび
ふたりのむすび

むすびのなかに
ひとりとふたり

せかいのなかに
ひとりとふたり

*高知県北川村・モネの庭にて

photopos-803

2016.11.17



べろべろばあ！
おばけだぞう！

どこでもおばけ
いつでもおばけ

おばけがいたら
このよはたのし

おばかがいたら
このよはたのし

おりこうさんは
ほどほどにして

べろべろばあ！
おばけだぞう！



*高知県北川村・モネの庭にて

photopos-804

2016.11.18



*高知県北川村・モネの庭にて

どこへ行くのかって？
それは風にきいてくれ

ほんとうは空で
踊っていたかったんだけど

だからといって
不自由だというわけじゃない

憧れだって
捨てちゃいない

歌だって
忘れちゃいない

これからどうなるのかなんて
どうでもいいことなのかもしれない
し

どこにいても
ぼくはぼくなんだから

肝心なことは
だいじなことを忘れないこと

ぼくだけのだいじなことを
決して忘れないことなんだから

photopos-805

2016.11.19

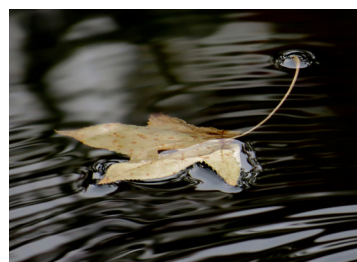
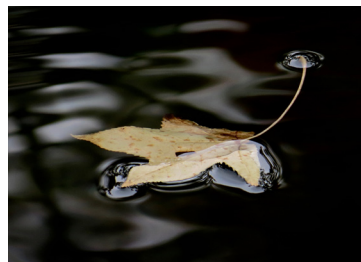


こんなにも
待ちつづけているのだ
待っているということさえ忘れ
待つことそのものとなって

こんなにも
呼びつづけているのだ
呼んでいるということさえ忘れ
声そのものとなって

こんなにも
聴きつづけているのだ
聴いているということさえ忘れ
耳そのものとなって

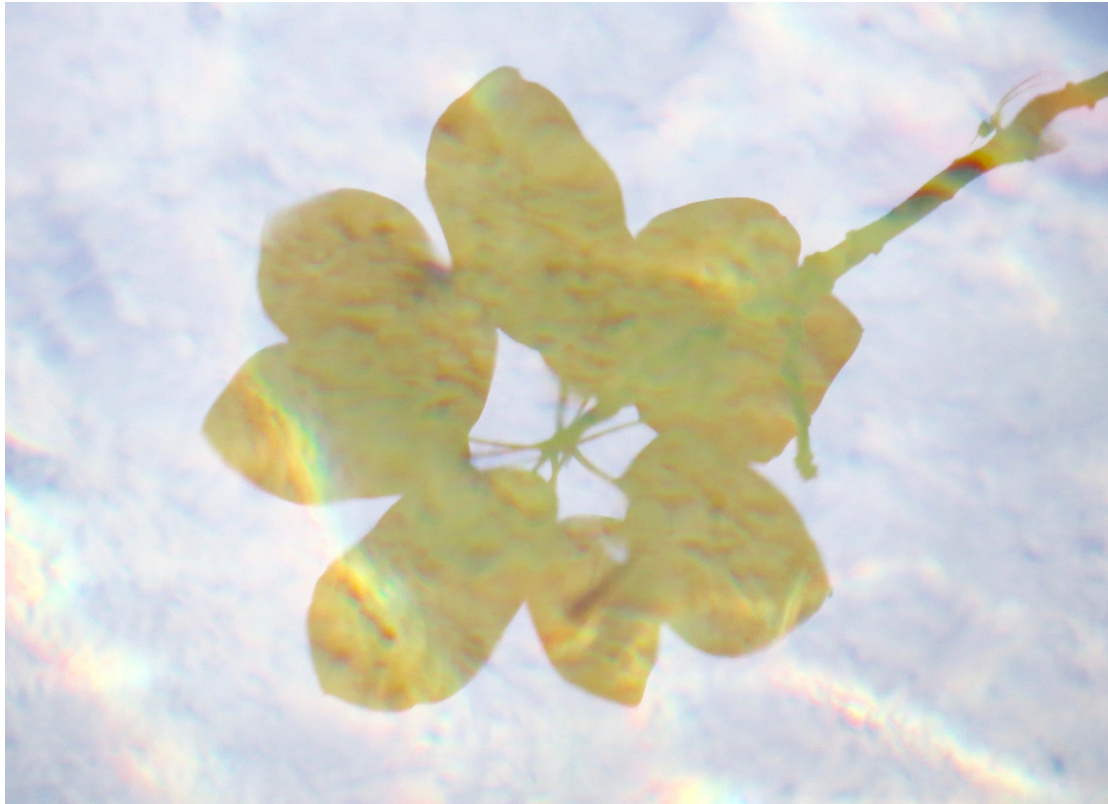
こんなにも
愛しつづけているのだ
愛しているということさえ忘れ
愛そのものとなって



*高知県北川村・モネの庭にて

photopos-806

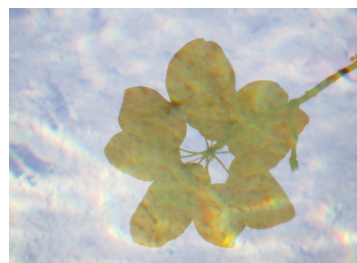
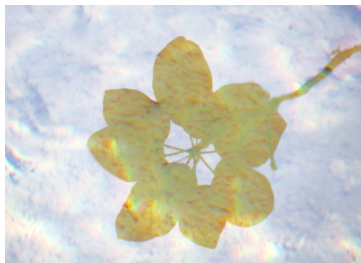
2016.11.20



憧れは
虹のごとく
思い出は
花のごとく

妙なるは
光のごとく
秘されしは
鏡のごとく

はるけきは
星のごとく
訪れは
調べのごとし



*高知県北川村・モネの庭にて

photopos-807

2016.11.21



*高知県北川村・モネの庭にて

どうしようもなく
心ふさぐときも

顔をあげることさえ
できなくなったときも

じぶんを励ますことなんか
思いもよらないときでも

耳をすませることはできるかい
ただ耳をすませて
訪れるものを待つことはできるかい

たとえそれが闇だったとしても
闇に耳をすますことはできるかい

すべてはやがて通り過ぎるのさ
どんな闇だって永遠には続かない
朝は必ずやってくるのだから

すべてが通り過ぎたとき
そのときに静かに訪れるものを
じっと待ち続けることはできるかい

終わるものがあり
始まるものがある
それまで待つことはできるかい

photopos-808

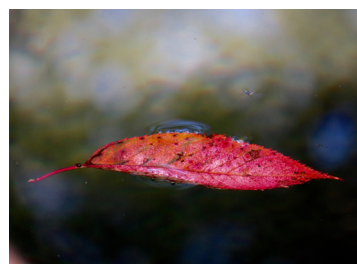
2016.11.22



試練は
訪れる
秘かに
されど
薄明の
確かな
境から

全ての
支えが
外され
寄る辺
のない
自由が
訪れる

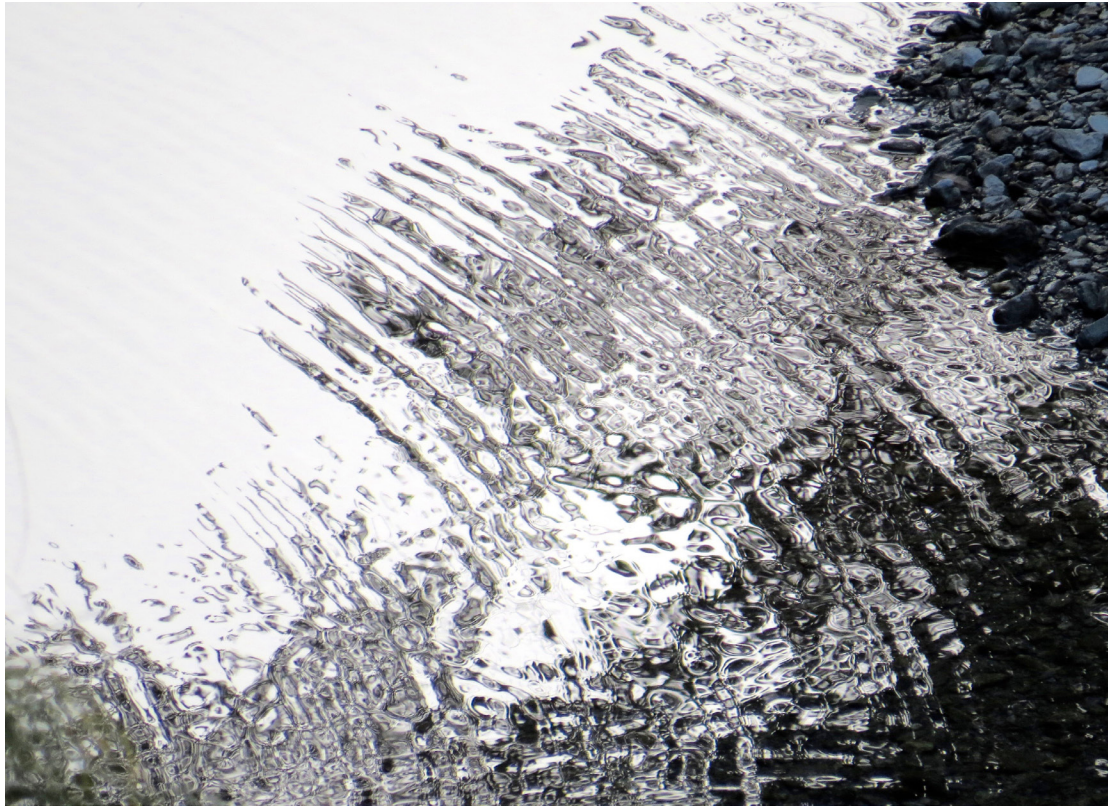
均衡を
求めよ
内なる
支えを
求めよ
自由は
訪れる



*高知県北川村・モネの庭にて

photopos-809

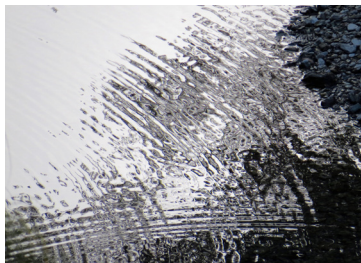
2016.11.23



それは
遠くから
届けられる

古の歌か
来るべき幾何学か
忘れられた叡智の欠片か

岸边に寄せる
歌のような響きの
どこか懐かしい波紋



*高知県のいの町・仁淀川上流にて

photopos-810

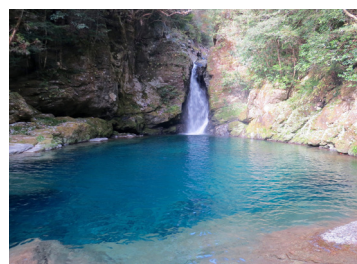
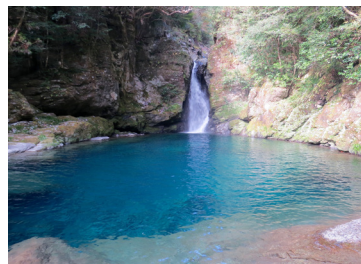
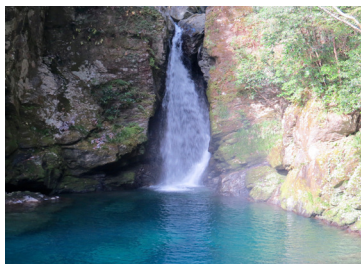
2016.11.24



源を求め
水と光が結ばれ
青が青になる場所へ

源を求め
天と地が結ばれ
歌が歌になる場所へ

源を求め
アルファとオメガが結ばれ
永遠が永遠になる場所へ



*高知県のいの町・にこ淵にて
(仁淀川水系の源流にある滝壺)

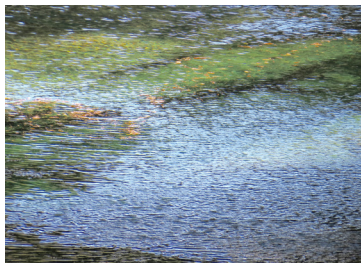
photopos-811

2016.11.25



はるか
時の彼方より
到り来て
穏やかに
熟してゆくもの

忘れていたよ
遠くから
夢のまにまに訪れる
懐かしいあの声
光と風の奏でる徴



* 愛媛県久万高原町・面河溪にて

photopos-812

2016.11.26



水の卵は
るるるるる

透きとおった
迷宮のなかで

夢みる宇宙の
ららららら

知らないぼくが
歌っているのか

光の謎よ
りりりりり

ゆれているのは
鏡のなかのぼく



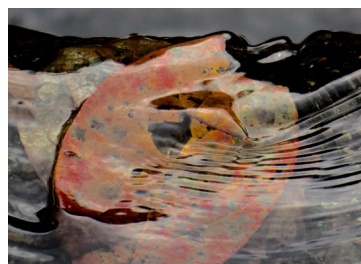
*高知県日高村・めだか池にて

photopos-813

2016.11.27



葉葉葉と笑い
悲悲悲と涙
不不不と頑固なまでに
辺辺辺と迷いつつも
歩歩歩と進むのだ！



*高知県日高村・めだか池にて

photopos-814

2016.11.28



闇の中では
見えない顔が見える
自分を裏返した謎の顔
鏡に隠された裏返しの顔

夢の中では
秘密の言葉が話される
聞こえない歌が歌われ
意味を越えた意味が伝えられる

私の中には
私ではないものが隠れている
私の死角に棲んで
私のすべてをじっと見ている



* 高知県日高村・めだか池にて

photopos-815

2016.11.29



迷えば
迷うとき
迷うべし

迷路にありて
待つべきは
足下の灯り

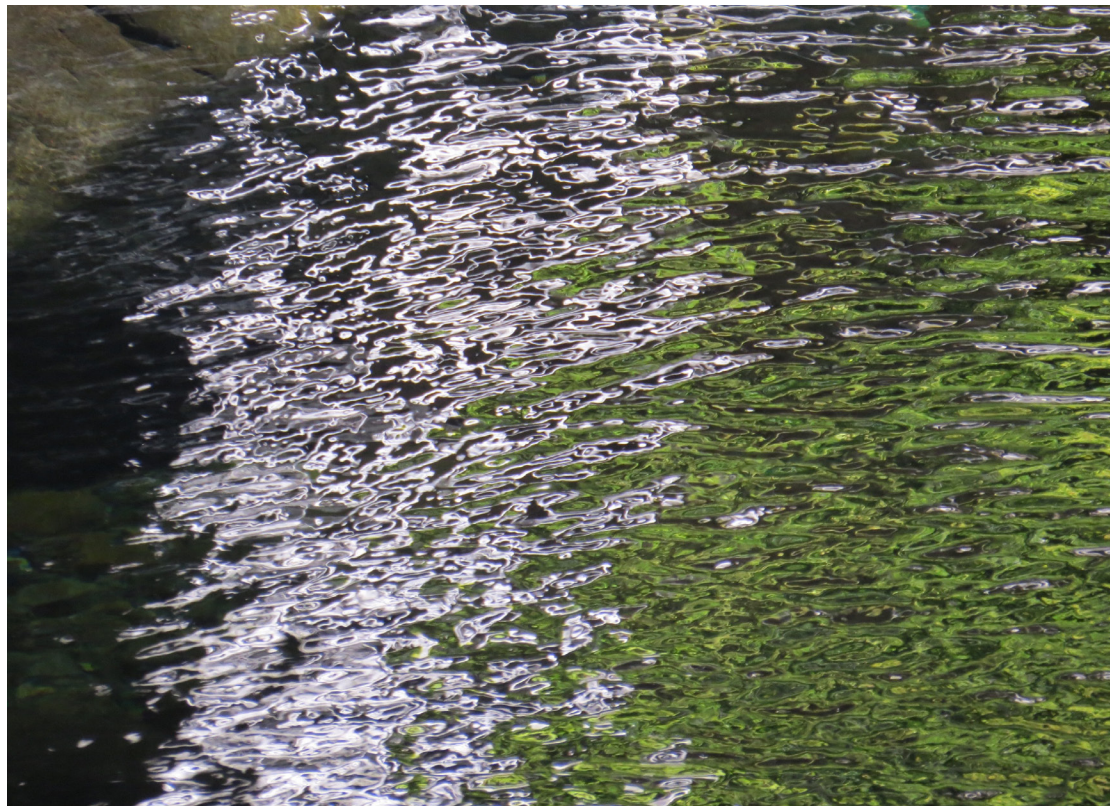
まして待つべきは
迷いのなかでこそ
心が照らす光



*高知県日高村・めだか池にて

photopos-816

2016.11.30



ささやき
さわさわ
ひみつの
ことのは

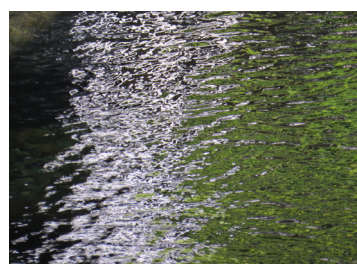
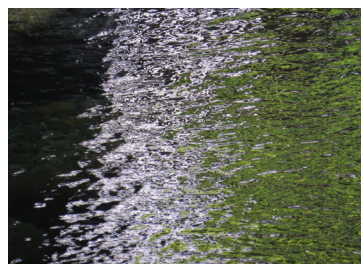
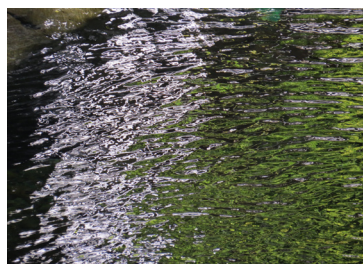
みずのながれに
よせてはかえし

このよの
なべての
いのちの
あむりた

ひかりのなかに
みちてはひいて

うつろう
こころを
しずめる
じゅもん

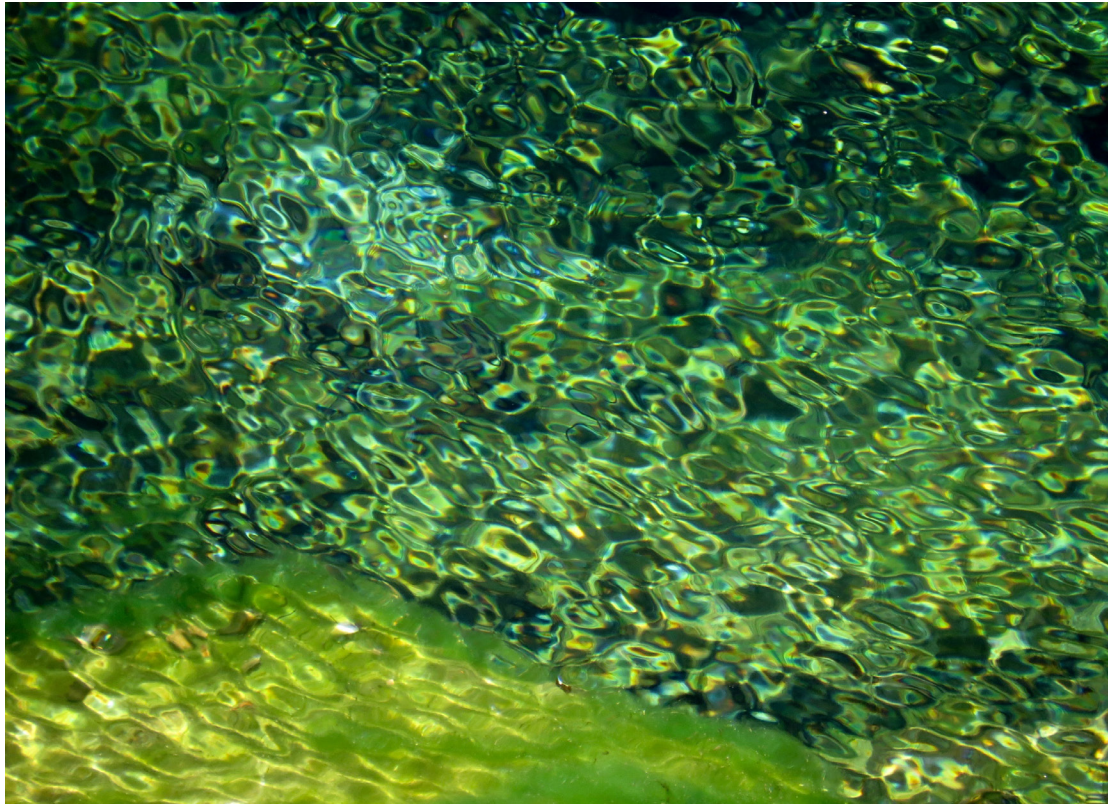
かなたとこなた
むすびてうたう



*愛媛県久万高原町・面河溪にて

photopos-817

2016.12.1



祈りの彼方より
光の珠の湧きいずる

その音色
妙なる響きを放ち

その色の
深きより詠うが如し

うつろう時の境を超え
永遠のアイオーンを寿ぎて



* 愛媛県久万高原町・面河溪にて

photopos-818

2016.12.2



小さく穴を掘って
ガラスの破片で蓋をした
なかに宝物を入れて

ちびた色鉛筆

銀紙

瓶の蓋

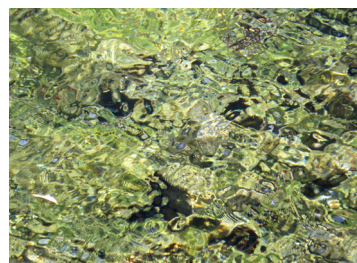
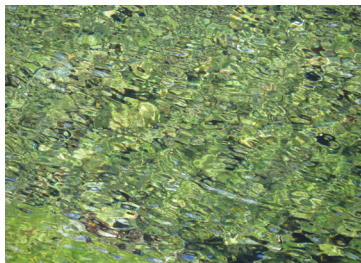
蜻蛉の翅

とれた釘

そんなみんな

心に小さく穴を掘って
光の欠片で蓋をした
なかに記憶の宝物を入れて

.....



*愛媛県久万高原町・面河溪にて

photopos-819

2016.12.3

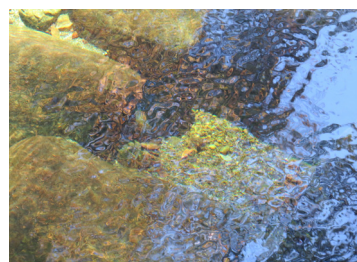
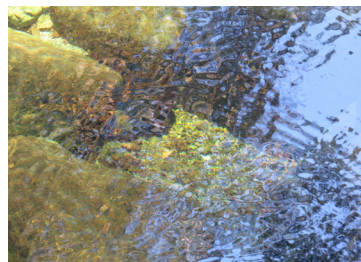
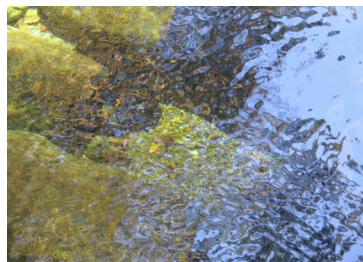


夢は帰ってゆくだろう
行方を探そうとしても
目が覚めると
その道は消えてしまう

けれど夢はいつもそばにいて
静かに笑っているのかもしれない
新しい夢へと変容するまでは

私は帰ってゆくだろう
だれかが行方を探そうとしても
そのときにはもう
私は見えなくなっているだろう

けれど私はいつもそばにいて
静かに笑っているのかもしれない
新しい私へと変容するまでは



*愛媛県久万高原町・面河溪にて

photopos-820

2016.12.4



*愛媛県久万高原町・面河溪にて

空へ
空へ
空へ
あこがれは
のぼりゆけども

鳥にはなれず
光に溶けゆけもせず
ただ色を変えながら
やがて散りゆくものよ

めぐりゆき
うつろう旅は
やがて終わるだろう

けれども
やがてはじまるもののために
天と地は祈っているのだ

はかなきゆえの豊かさを
貧しきゆえの大いなる恵みを

photopos-821

2016.12.5



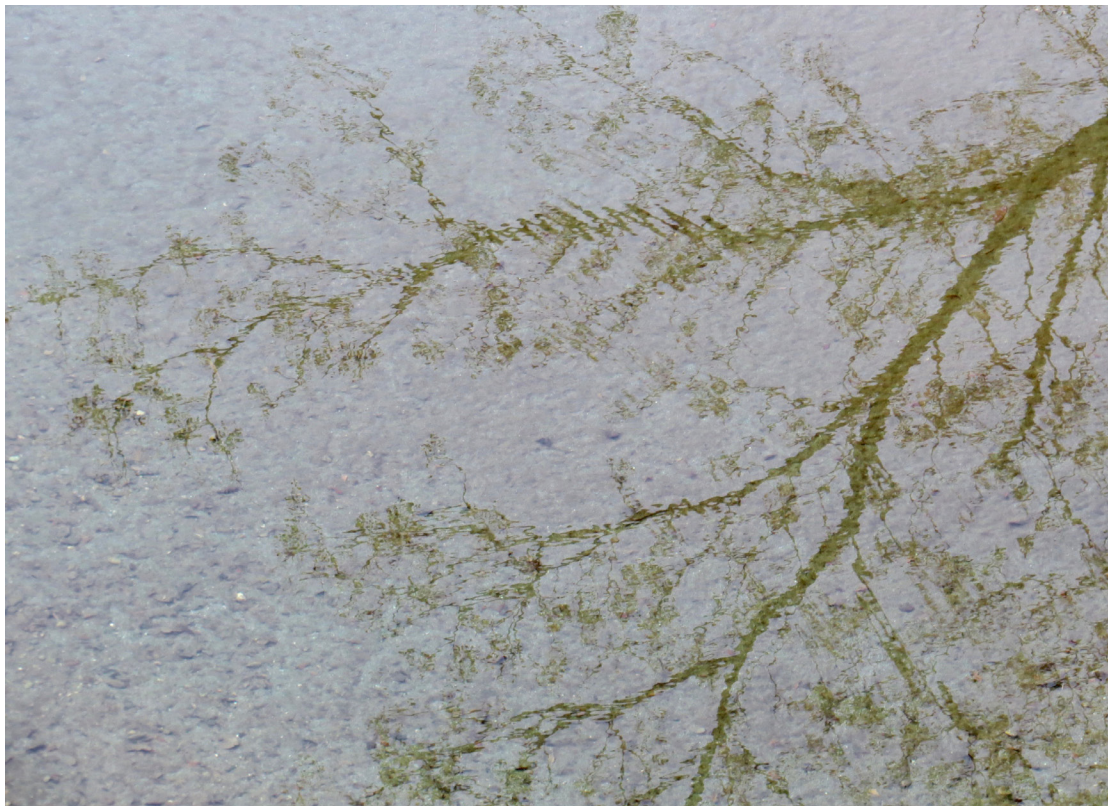
ゆれまどう
夢の川面に
うつりゆく
時の景色の
儚きさまに
さざめく心
水に流して



* 高知県仁淀川町池川にて

photopos-822

2016.12.6

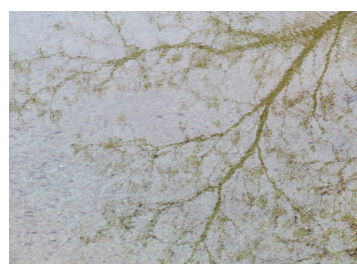
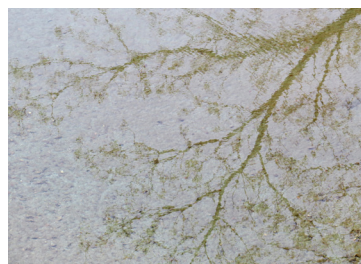
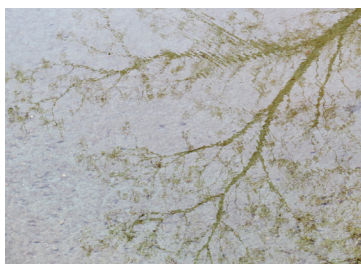


ふと気づくと
世界のはざまにいる

光でも闇でもなく
流れるでも留まるでもなく
信じるでも疑うでもなく
記憶でも忘却でもない

そんなどこでもない場所で
私は私を呼吸している

何かに祈るでもなく
何かを求めるでもなく
ただ私という世界を呼吸している



* 高知県仁淀川町池川にて

photopos-823

2016.12.7



魔物と見えしは人よ
人こそ魔物となりて
闇の言葉を紡ぎゆく

迷宮と見えしは人よ
人こそ迷宮となりて
世界を迷宮に変える

曙光と見えしは人よ
人こそ夜を越えゆき
みずからが光となる

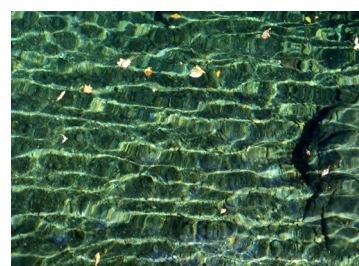
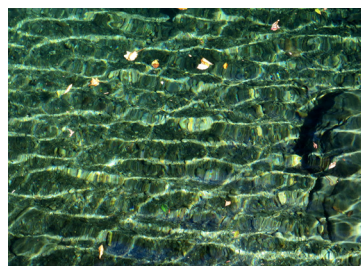
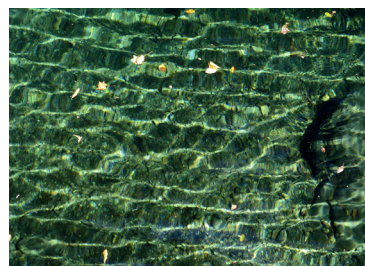
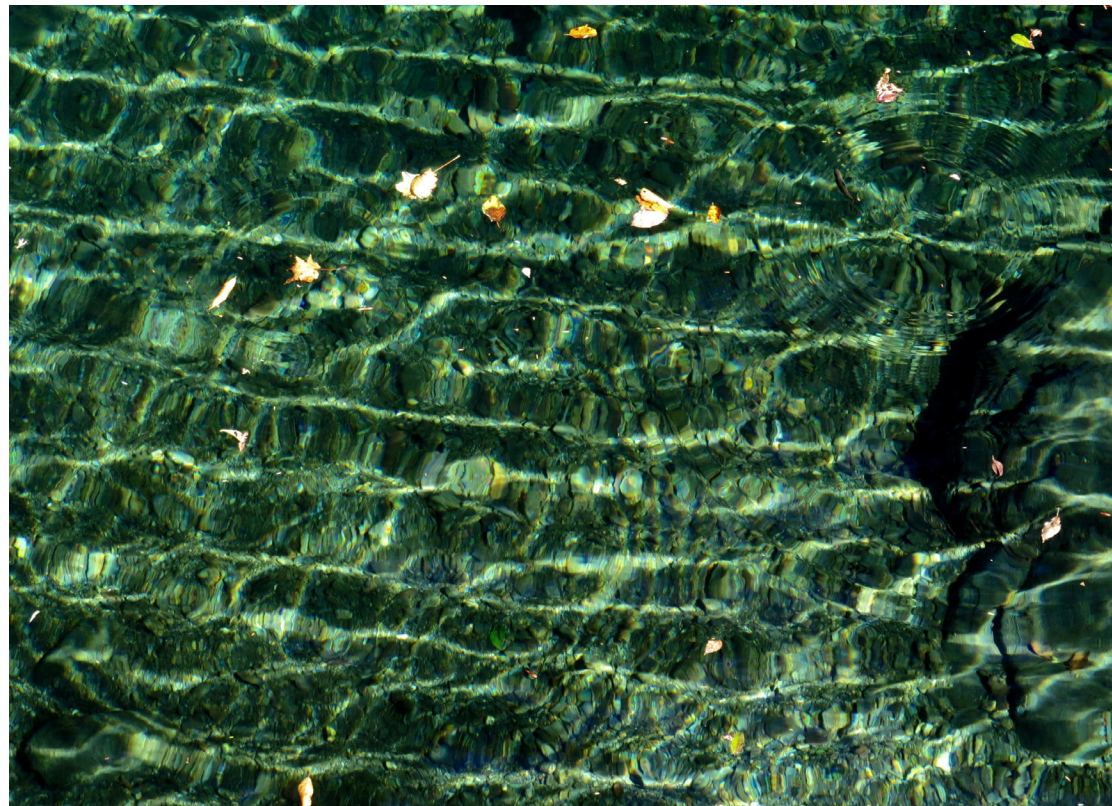
奏でているのは人よ
人こそ音楽となりて
宇宙に響く弦となる



*高知県仁淀川町・土居川にて

photopos-824

2016.12.8



記憶の森で
目を醒ます

記憶の森は
鏡のゆらぎ

ららるりら
ららるりら

記憶の水の
響きの中を

神秘の音は
奏でられる

ららるりら
ららるりら

記憶の彼方
現れる姿形

源から湧く
不思議模様

ららるりら
ららるりら

記憶の森の
境を超えて

言の葉詠い
水は流れる

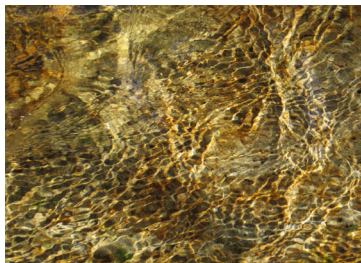
*愛媛県久万高原町・面河溪にて

photopos-825

2016.12.9



龍も遊ぶか
トレモロの
流れる水の
さざめきの
夢の欠片に
めぐりきて
何を歌うか
大地の声よ



*愛媛県久万高原町・面河溪にて